

令和二年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」「と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) 作者の略歴を紹介する。
- (2) 簡便な方法を試した。
- (3) 主将としてチームを率いる。
- (4) 兄とともに家業を継ぐ。

問二 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) かんまつの参考資料を見る。
- (2) 項目別に課題をれつきよする。
- (3) 太陽の光がふり注ぐ。
- (4) 誕生日に友人をまねいた。

問三 次のA、Bの文の□には、体の部分を表す同じ漢字一字が入ります。その漢字を書きなさい。

- A 私たちは、去年の優勝チームに□を借りるつもりでぶつかつた。
- B 友人に悩みを打ち明けて、□のつかえがおりた。

問四 次は、中学生の村上さんと菊地先生の会話です。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(村上さん) 放課後に行う¹ダンスの練習場所は、予定通り多目的教室でよろしいでしょうか。

(菊地先生) 今日は隣の教室で打合せがあるため、多目的教室での練習は□ない方がよいでしょう。

(村上さん) わかりました。では、他に使える場所があるかどうか探してみます。²

- (1) ——線1「行う」を、□に当てはまるように活用させて書きなさい。
- (2) 次の文が、——線2「他に使える場所があるかどうか探してみます。」と同じ意味になるように、□に当てはまる言葉を書きなさい。

他に使う □ 場所があるかどうか探してみます。

問五 次の文章を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(斎藤勝彦「トコトンやさしい段ボールの本」による)

(1) — 線1「いつもそこにある段ボール」とありますが、この表現から、筆者が段ボールをどのようにとらえているかを、次のようにまとめるとき、①、②に当てはまる表現を、それぞれ書きなさい。ただし、①は文中から十字以内で書き抜き、②は文中の言葉を用いて、五字以上、十字以内で書くこと。

段ボールは、私たち日本人にとって、①であるといつてよいほど、②している。

(2) — 線2「現代の大森林」とありますが、筆者が、大都市のことをこのように表現している理由を、解答欄に示した表現に続けて、三十字程度で書きなさい。

二

次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部「鉛筆削り」は、①「鉛筆」と②「削り」の二つの単語に分けることができます。この二つの単語を、単語の成り立ちから分類したときの組み合わせとして正しいものを、ア～カから選びなさい。

妹は、小学校の入学祝いに鉛筆削りを買ってもらった。

ア	①	和語	②	和語		イ	①	和語	②	漢語
ウ	①	漢語	②	和語		エ	①	漢語	②	漢語
オ	①	外来語	②	和語		カ	①	外来語	②	漢語

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

(1) 町の伝統文化を守る取り組みが、地域住民の思持を得て進められている。

(2) 施設の利用許可を受けるため、提出書類に必要事項を記入して信請した。

問三 ある中学校の生徒会役員が、地域の小学校六年生に中学校の生活を一日体験入学で紹介することになりました。次は、参加する小学生を対象に事前に行ったアンケートの結果(A)と、生徒会役員の話し合いの場面(B)です。これらを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

(A) アンケートの結果

一日体験入学事前アンケート

【小学校6年生 112名回答】

中学校の生活で楽しみにしていることは何ですか。(複数回答)

- ・学校祭などの学校行事 (69%)
- ・新しい友達をつくること (61%)
- ・部活動に参加すること (54%)
- ・制服を着ること (32%)
- ・新しい教科を勉強すること (20%)
- ・生徒会活動に参加すること (13%)

中学校の生活で不安に思っていることは何ですか。(複数回答)

- ・勉強が難しくなること (71%)
- ・定期テストがあること (63%)
- ・自分に合った部活動があるか (52%)
- ・学校のきまり (51%)
- ・先輩との関係 (36%)
- ・学校が遠くなること (9%)

(B) 生徒会役員の話し合いの場面

(田中さん) これから、アンケート結果を参考にして、一日体験入学でどのようなことを紹介したらよいか考えましょう。何か意見はありますか。

(佐藤さん) 私は、授業の紹介をするとういと思ひます。アンケート結果では、多くの小学生が、勉強が難くなることに不安を感じているようなので、動画を使って、授業の楽しそうな様子を伝えるとういと思ひます。

(高橋さん) そうですね。また、回答数としては多くないですが、小学生もいるので、授業の紹介はよいと思ひます。

(山本さん) 部活動の紹介も必要だと思ひます。部活動については、楽しみにしている小学生がいる一方で、不安を感じている小学生もいて、部活動への関心が高いことが分かります。部活動の紹介でも動画を使い、部員に活動内容を説明してもらってはどうか。

(田中さん) 確かに授業と部活動を紹介するのはよいと思ひます。また、動画を使った紹介は、中学校の生活がイメージしやすくなると思ひます。まずは授業と部活動を紹介することにしましょう。他に、アンケートを生かして、紹介した方がよいと思ひことはありませんか。

(野村さん)

(田中さん) 今の意見も追加して、紹介資料を作成していくことにしましょう。

(1) (B) の に当てはまる表現を、(A) から考えて、二十字程度で書きなさい。

(2) (B) の で囲んだ部分の発言の意図を説明したものとて最も適当なもの、**ア**～**エ**から選びなさい。

ア 発言の内容を評価しつつ、自分の意見を述べて、話し合いを方向付けながら進行しようとしている。

イ 発言の問題点に気づき、解決策を補足するなどして、話し合いの目的を参加者に意識させようとしている。

ウ 発言の内容を簡潔にまとめ、繰り返して説明することで、話し合いで出た意見の違いを明確にしようとしている。

エ 発言の趣旨を尊重する一方で、反対意見を述べることで、話し合いに新たな話題を提示し進行しようとしている。

(3) 野村さんも、話し合いの中で意見を述べようと思ひました。あなたが野村さんになったつもりで、次の条件1、2にしたがって、(B) の に当てはまる表現を書きなさい。

条件1 学校生活のどのようなことを紹介するかを、理由とともに書くこと。

条件2 「授業」、「部活動」以外を紹介する意見とすること。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(日野祐希「菜の花工房の書籍修復家」による)

問一 ― 線1 「俊彦の真似をすることなど、自分にできるのか」とありますが、菜月がこのような思った理由を次のようにまとめるとき、①、② に当てはまる表現を、それぞれ文中から十字以上、十五字以内で書き抜きなさい。

本の裏表紙が、俊彦の①や、②によって、見返しからきれいに剥がされていく様子を見たから。

問二 ― 線2 「何か大きな失敗……そう書かれている」とありますが、俊彦は、このような様子の菜月への気遣いとして、自分の師匠の話を紹介した上で、失敗に対するどのような二つの考え方を話しましたか、それぞれ書きなさい。ただし、いずれも二十五字以上、四十文字以内で書くこと。

問三 ― 線3 「集中、集中」とありますが、菜月が本の修復作業に深く集中していることが最もよく表現されている一文を文中から抜き出し、最初の四字を書きなさい。

問四 ― 線4 「最初みたいに……ことはなかった」とありますが、最初に菜月の手が緊張で震えていたのは、どのような失敗を恐れたからですか、十字程度で書きなさい。

四

次の長歌を読んで、問いに答えなさい。

これは、天智天皇が、春山に咲き乱れる花と、秋山をいろどる木の葉との、どちらに趣があるかと尋ねた時に、額田王ぬかたのおほきみが詠よんだ長歌です。

¹冬ごもり 春さり来れば 鳴かざりし 鳥も来鳴きぬ 咲かざりし 花も咲けれど
山をしみ 入りても取らず 草深み 取りても見ず 秋山の 木の葉を見ては
黄葉もみぢをば 取りてそしのふ ²青きをば 置きてそ嘆く そこし恨めし 秋山そ我は

(「万葉集」による)

(注) 冬ごもり——「春」にかかる(を修飾する)枕詞まくらことば。

春さり来れば——春がやってくる。 山をしみ——山が茂っている。

草深み——草が深いので。 しのふ——思い慕う。 そこし——そのことが。

問一——線1「冬ごもり」は枕詞です。次の和歌から枕詞を書き抜きなさい。

誰たれそこの 我がやどに来呼ぶ たらちねの 母にころはえ 物思ふ我を

(注) ころはえ——しかられ。

問二——線2「青きをば」とありますが、長歌の内容から、「青き」と「をば」の間に補うことが出来る最も適当な語を、長歌の中から一字で書き抜きなさい。

問三 次の文章は、長歌について説明したものです。
現を、それぞれ書きなさい。ただし、
①は五字以内で書き、
②は長歌の中から五字以上、七字以内で書き抜くこと。

この長歌において、額田王は、対になる表現を多く用いながら、春山の花と秋山の木の葉について、これらを
① 観賞できるかどうかという点に着目し、比較している。その上で、天智天皇の問いに対して「
②」と答えている。

